

令和2年度第2回総合教育会議

○開催日時 令和2年11月25日(水) 午前10時43分～午後0時31分

○開催場所 行方市役所 北浦庁舎2階 第2会議室

○出席委員

行方市長	鈴木 周也
教育長	横田 英一
教育長職務代理者	滝 恵美子
委員	石崎 光春
委員	大崎 あい子
委員	明石 延之

○事務局出席者

教育部長	平山 寛児
学校教育課長	八木 峰男
生涯学習課長	浜田 健太郎

1. 開 会

2. あいさつ

3. 付議案件

(1) 行方市教育大綱について

(2) 行方市公立幼稚園適正配置について

(3) その他

・GIGA スクール構想関連の進捗状況について

4. その他

5. 閉 会

○議 事 録

1. 開 会

平山部長から開会の宣言がありました。

2. あいさつ

鈴木市長からあいさつがありました。

横田教育長からあいさつがありました。

3. 付議案件

(教育長) 議事録署名委員に明石委員を指名します。

(1) 行方市教育大綱について

発 言 者	発 言 内 容
明石委員	疑問をもった点は、2 ページの下段、教育大綱の下に枝分かれした 3 つの計画が記されているが、生涯学習推進計画及び学校教育プランの計画終了年度は令和 8 年度までと記されており、教育大綱が令和 7 年度終了なのに対して 1 年度長くなっている。また、学校教育プランについて、現行は令和 2 年度まで、次が令和 4 年度からとなると、令和 3 年度が抜けてしまうのではないか。その点について、ご回答いただきたい。
浜田課長	生涯学習推進計画について、当初計画を立てるに当たり、平成 28 年度に意見を取りまとめ、平成 29 年度に開始された。スポーツ推進計画についても、平成 27 年度に意見取りまとめ、内容の熟考が行われ、平成 28 年度から開始された。
横田教育長	国のスポーツ推進計画に基づき、行方市のスポーツ推進計画が先行して策定された背景があるのだろう。学校教育プランについて、現行の計画は 1 年前倒しで開始された結果、終了年度が令和 2 年度までとなり、教育大綱との間にズレが生じてしまった。本来であれば、教育大綱の後に教育プランを策定すべきと考えているため、現行のものを令和 3 年度まで使用、新たな計画は令和 4 年度からとする。
明石委員	学校教育プランについては、平成 32 年度までの計画を令和 3 年度まで使用するという理解した。
横田教育長	現在の学校教育プランは年度途中から開始されたが、実際現場では、年度途中から開始しても活用が難しいため、年度当初からの適用になるよう、変更させていただいた。
大崎委員	教育大綱について、今回修正されたもので内容的には問題ないと思うが、2 点ほど質問がある。1 点目は、基本方針 1 の「本市の特色を生かした多様な教育」という文言は、基本目標序文中にある「本市の特色を生かした質の高い教育」と同等の意味なのか教えていただきたい。
横田教育長	2 点目、基本方針の文言中には、「自立」が 4 か所、「自律」が 1 か所で使われているが、「自律」と「自立」で異なる表記をしている点に疑問をもった。反復して表記される「自立」と異なり、「自律」を用いた理由を伺いたい。
横田教育長	「多様な教育」と「質の高い教育」の意味の違いについて、「本市の特色を生かした多様な教育」とは、これまで作り上げてきた教育と I C T 教材を活用した教育、本市の魅力を活かした多様な教育、という意味で「多様な教育」を用いた。一方で

<p>大崎委員 横田教育長</p>	<p>「質の高い教育」とは、対面での人間関係教育と同様に先端技術を活用した新しい、質の高い次元の教育という意味を持つため、若干の違いがある。</p> <p>ある程度似た意味ということで理解した。</p> <p>似た意味であるが、「質の高い教育」の持つ意味には、教育の深まり的な部分も含まれるため、文言の統一を図るか検討が必要である。</p> <p>「自律」と「自立」について、個人に関係する内容には「自立」を用い、人間性や価値観といった内面的なものを含めた広い意味として「自律」を用いた。</p>
<p>大崎委員</p>	<p>新たな学習指導要領では内面的な部分が大きく改訂されたため、教育長よりお話しただいた点は非常に大切であると思う。広く伝わるよう、わかりやすくなると良い。</p>
<p>横田教育長 滝委員</p>	<p>文言等の内容を再度確認し、場合によっては修正する。</p> <p>基本方針の「2 新しい時代を牽引する資質・能力」の箇所について、「学びに向かう基盤的な学力や人間性」とあるが、「基盤的な」は「学力」と「人間性」の両方にかかっているのか。</p>
<p>横田教育長 滝委員</p>	<p>「学びに向かう基盤的な」から捉え、「学力」にかかっている。</p> <p>では、修飾語が多い「学力」に対して、「人間性」のみだと文章のバランスが悪く感じる。「学力」と同様に「人間性」に対しても行方市が求める姿を表す文言を付してはどうか。</p>
<p>横田教育長</p>	<p>検討させていただく。どのような「人間性」か、という部分を含め、文章全体を確認する。</p>
<p>鈴木市長</p>	<p>最後に、鈴木市長からご意見を頂戴したい。</p> <p>教育大綱策定にあたってのあいさつ文がまだ案ということであれば、新型コロナウイルス感染症の最中であるので、「新たな生活様式」については触れなければならぬ。また、GIGA スクール構想関係についても、ICT 教育、GIGA スクール構想関係の内容も含めるべきある。大綱全体について、子育てや若者への教育にのみ触れた文章だが、教育大綱であるため、学校教育プランだけでなく、生涯学習推進計画及びスポーツ推進計画の内容も含め、若年層に係る内容で済ませるべきではないので、各部各課と調整を行い、内容の検討をお願いする。細かい点になるが、「総合戦略書」と「総合戦略」どちらか、確認をお願いする。</p> <p>行方市教育大綱の基となる総合戦略書に関して、教育の内容は「みんなで育むプロジェクト」だが、生涯学習やスポーツ推進の分野は、「健康で文化的なまちプロジェクト」に該当するため、追加をお願いしたい。基本目標の序文、「人生 100 年時代の到来」という言葉は、スポーツ推進計画や生涯学習推進計画に繋がり、「生涯を通して」は生涯学習、「心身ともに健康な生活」はスポーツ推進に関連するため、「健康で文化的なまちプロジェクト」を含めることにより、生涯学習推進計画とスポーツ推進計画を相対的にカバーすることができる。</p> <p>序文にある GIGA スクール構想に関係した文言について、文中の「先端教育」でも良いが、今後 5 年間は使用するため、先を見越した言葉の選択をお願いする。</p> <p>先ほど滝委員からもあったが、基本方針 2 にある、「知識・技能、思考力・判断力・表現力」からの文は、後段の「先端技術」に関連する GIGA スクール構想や ICT 教育に繋がると読み取れたため、基本方針 2 は ICT 関連でまとまる。そうすると基本方針 2 中にある「人間性」という言葉は基本方針 3 に入り、生涯学習分野やスポ</p>

横田教育長	<p>ーツ推進分野を内容に含め、行方市が求める「人間性」を示せるのではないか。基本方針を見ていくと、1は郷土的な部分、2は学習及び先端技術、3は人間性、4は全体のまとめ、のように軸の流れがあるため、そのような構成にした方がより伝わりやすくなるのではないかと感じた。</p> <p>基本方針1の部分で追加記載をお願いしたいのだが、行方市は農水産物だけではなく畜産にも力を入れているため、そこを追記してほしい。</p> <p>本市のICT教育は最先端だと言い切れるので、その点を踏まえた構成にさせていただきたい。生涯学習分野とスポーツ推進分野を絡めることで、行方市全体としての大綱になる。幼児から20代までに焦点を置きがちだが、幅広く考えてほしい。</p> <p>ご指摘いただいた文言や位置づけ、基本方針の構成等については、検討させていただく。方針2は新しい教育、方針3は生涯学習分野に関する事項という視点を持ち、よりわかりやすい文言、構成にしていく。</p> <p>国では、教育振興基本計画が2030年以降も視野に入れた内容で平成30年度に出されたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施行後1、2年で社会が大きく変化した。それにより、文言の使い方も変わってきているため、常に最新版を参考にし、変えていきたい。今後、企画政策課とも連携し、内容を調整していく。</p>
-------	--

(2) 行方市公立幼稚園適正配置について

発 言 者	発 言 内 容
石崎委員	<p>これまで保護者の考えを聞く機会があったが、市がだいぶ譲歩した形になったと感じた。始まった当初であれば、このような内容にはならなかったことと思う。保護者の意見もいろいろあったが、この案であれば納得するだろう。</p>
滝委員	<p>他の自治体には、無理に閉園をすすめ、状況が悪化したケースもあるとのことだったので、状況をよく見て判断をお願いしたい。非認知的能力はアメリカから来た考え方で、当時は世界的にその考えを取り入れる傾向だった。昨年の北浦幼稚園、今年の玉造幼稚園での研究発表では、どのように非認知的能力を育てるか、という部分にうまく言及しており、非常に良いものであった。行方市の幼児教育の水準は高いため、保護者に説明する際には、適正配置の説明と併せ、水準が高いこと、施設及び周辺環境は県内でも上位であることをよく伝えてほしい。</p>
横田教育長	<p>非認知的能力について、アメリカからの考えという話があったが、その考えを受けて日本では、お茶の水女子大等でも研究されており、社会的スキル等が10歳までに必要ということが判明した。本市ではより現実的にするため、PTAと連携し、保護者に対して、東北大学の研究者である瀧教授を招聘した講演会を実施した。幼児教育において大切なことについてお話しいただき、自然とともに夢中体験をする、否定的な発言が非認知的能力育成のブレーキになる等の話を伺えた。今後も継続的に保護者に対して、実施していきたいと考えている。</p> <p>これまで、幼稚園のホームページが無く、取り組み内容が見えない状態だったが、就学前教育に関しても情報発信が必要だと考えているため、市ホームページから幼児教育を発信していく。</p> <p>適正配置の基本方針について、休園基準を5人未満としているが、これは4人以下では集団生活における非認知的能力の育成が難しくなると考えられるため、このような基準を設けた。</p>

明石委員	5人未満とする理由を明確に示されていなければ、保護者は必ず疑問を持ち、場合によっては誤解を招く事態にもなり得る。非認知的能力を育てるため等の明確な理由があるのであれば、数字だけでなく背景まで詳細に説明すべきである。
横田教育長	他に何かあるか。
鈴木市長	ないようなので、鈴木市長よりご意見をいただく。 他自治体において保護者との間に溝が生じるという話があったが、閉園ありきでガイドラインを作ってしまう、保護者の意見を十分に聞けなかったのだろう。今回は、幼稚園に入る前段階の保護者へアンケートを取ったため、このような結果が出たと考えている。ガイドライン1から5に関する部分で、集団生活とは何か、という部分の説明があるべきだと感じた。「集団生活」という言葉は多く出てくるが、一方で、保護者からの意見には「6人以下でも入園させたいという意見が3割弱あり」とあり、3割弱の保護者が集団生活に対して重要性を感じていない、と受け取ることができる。保護者に対して、どのような目的を持って集団生活の重要性を訴えていくのかを考えなければならない。公立幼稚園と各小学校との連携や交流、小学校へのスムーズな接続という目的が、「集団生活」の部分に表れてくるのだろう。幼稚園では5人以下でも良いが、小学校へ進学後、人数が増えたことによるショックや馴染めない等の問題も出てくるだろう。そのような可能性を想定した上で、保護者がどのような考えを持つかがこのガイドラインの原点になると考えている。 保育の無償化の開始により、こども園との差別化が難しくなっている。市立幼稚園として、力を入れていく部分を充分保護者にアピールした上で、保護者自身の考えに合った選択ができると良い。市として特色のあるものにしていくためには、しっかりとガイドラインを定め、それを元に取り組まなければならない。 アンケート回答者の意見に、地域との関わりがどうなるか心配、とあるが、幼稚園、保育園の段階で子ども会に所属してはどうか。そうすることにより、小学校に上がった後も子ども会で一緒に活動する上級生がおり、子どもたちも心強いのではないか。地域として一体感が生まれるよう、生涯学習課で推進すべきだと考えている。教育大綱でも地域との関わりについて触れているので、より早い段階で関わり合いを持ち、保護者同士で慣れてもらえれば、その後のPTAや地域活動等に円滑な接続ができるだろう。地域との関わりについては、非常に重要であるため、改善が図れるよう、願います。 公立幼稚園の適正配置でガイドラインを設けることは他の自治体はしていないだろうと思う。こども福祉課を通して、こども園や保育園の情報を共有し、明確な理由が説明できるよう、焦らずに進めてほしい。

(4) その他・GIGA スクール構想関連の進捗状況について

発言者	発言内容
横田教育長	先ほど学校教育課長より話があったように、12月末までに全学年に端末が入るが、バッテリーを充電するための電源キャビネットが遅れているため、現在は臨時でACタップを購入し、対応している。大型モニターについては、現在学校においているものより大型のものが年明け以降、無線アクセスポイントの増強が12月契約の予定で進めている。ソフトウェアについて、現在整備されているものは、ロイロノート、English4skills等である。English4skillsにはAI機能が搭載されてお

滝委員	<p>り、できた点、できなかった点を AI が判断し、学習のフィードバックができるようになってきている。これらは現在、試験的に導入しているが、来年度以降も継続する考えである。各学校から ICT 教育推進委員 2 名を選出し、実際に端末を使つての研修を行っているが、実際に使うことで多くの課題が挙がっている。</p>
横田教育長	<p>ここまで整備するのは大変だったことと思う。どれを購入すべきか不明確な中、調査から設置は非常に迅速に対応していただいた。今後は現場の教員が、努力して教育大綱に上がっていることを目標に活用してほしい。実際に端末を使用した授業を拝見したが、ICT 機器を活用した授業には敵わないと感じた。先生方は使い慣れない機器での授業で大変かと思うが、めげずにどんどん取り組んでほしい。</p>
大崎委員	<p>北浦小学校での ICT 機器を活用した授業が新聞でも取り上げられたが、先生方にはとにかく使うようお願いしている。その中でいろいろな課題が上がっており、セキュリティ面での課題も見つかったため、設定のやり直しを業者へ依頼している。フィルタリング等は教育委員会が指定したものがきちんと除かれているか確認をお願いしている。端末を使うことにより、働き方改革にもつながると考えている。</p>
横田教育長	<p>教員をサポートする人材も入れるということで、とても良い環境であり、教育大綱でも明言されているので、ぜひ年配の教員も挑戦してほしいと思う。</p>
大崎委員	<p>GIGA スクールサポーターは現在、週 1 日のみだが、来年度以降増やしていく考えである。</p>
明石委員	<p>研修を受けた教員が学んだことを持ち帰り、ほかの教員に教えることもできるだろう。</p>
横田教育長	<p>各学校の活用の実態を把握し、必要に応じたサポートをお願いする。</p> <p>緊急事態に備え、試験的に各家庭へ貸出を行い、家で使用できるかを検証する予定である。先生方には、遠隔で授業を実施する可能性を考慮し、試す必要があり、また、家庭の通信環境で使用できるか、環境が整っていない家庭ではどうするか等を確認する必要がある。家庭によっては、設定ができない、環境はあるけれど繋がらない等の課題があるため、貸し出しについては解決策の検討が必要だろうと考えている。</p>
鈴木市長	<p>教育委員の皆さまには、貴重なご意見をいただきありがとうございました。鈴木市長よりご意見いただく。</p> <p>10G の LAN ケーブル設置は県内、全国でもトップクラスなのではないかと考えている。通信環境が整わなければ、機器を揃えても意味がない。</p> <p>端末のフィルタリングについて、保護者は十分に理解していることと思うが、その周りの方々が理解しておらず、有害なサイトを閲覧できるのではないかと、金銭トラブルが起きるのではないかと、等の意見も聞くので、フィルタリングやセキュリティ面が万全であることを発信できる場面づくりを行っていきたい。</p> <p>現在国でも、DX（デジタルトランスフォーメーション）のために動いているところであり、行方市はその波にうまく乗れている。先ほど話のあった 10G LAN ケーブルだが、来年度に繰越したことによって、春先の工事が少ない時期のため、協力いただける業者がでてくるのではないかと考えている。繰り越しありきという考えは良くないが、繰越す理由を明示したうえで、確実な実施に向けた対応は必要である。</p>

4. その他

5. 閉 会

平山部長から開会の宣言がなされました。